

2015年3月期  
(2014年4月1日～2015年3月31日)

# 決算参考資料

---

---

2015年5月12日



東証・名証1部上場 コード:9900

設立:1970年3月

資本金:63億352万円(2015年3月31日現在)



# 目次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. 店舗展開の状況	—————	P4
3. 2015年3月期の業績概況	—————	P6
4. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P6
5. 2015年3月期の業績・取り組みについて	—————	P7
6. 2016年3月期の業績予想	—————	P8

# 1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は9社であります。

[連結子会社]

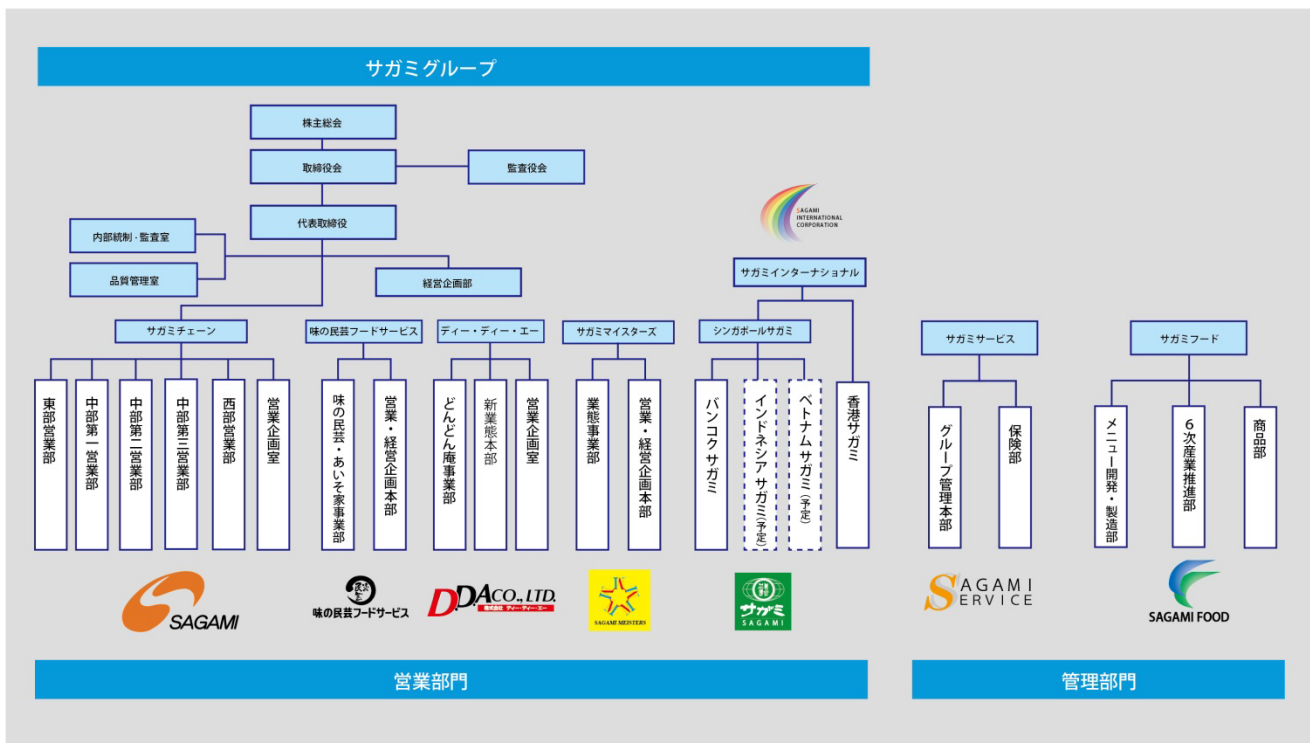
名称	住所	資本金又は 出資金	事業の内容
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	50,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
※株式会社サガミマスターズ	立川市	10,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000,000円	保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務 不動産賃貸業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	食材の仕入・製造業務 飲食店の経営 輸出入業務
HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.	Hong Kong	320,000香港ドル	海外事業(東アジア)の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	1,000,000米ドル	海外事業(ASEAN)の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	投資事業
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	海外事業の統轄

※ 株式会社サガミマスターズは、2015年4月1日に設立いたしました。

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.	----2012年10月22日
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社	----2014年04月01日

○ サガミグループ組織図



- ◆ 株式会社サガミチェーンは、主に和食麺処サガミ業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態を経営しております。  
(2015年4月よりあいそ家業態は味の民芸フードサービス(株)が経営を担うこととなりました)
- ◆ 株式会社ディー・ディー・イーは、主にどんどん庵業態、製麺大学業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマイスターズは、2015年4月に小型業態のフランチャイズフォーマット確立とフランチャイズビジネスの展開を主たる目的とし、設立いたしました。  
主に水山業態、JINJIN業態、サガミ村業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミサービスは、主に管理業務、保険業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造、6次産業推進を行っております。
- ◆ HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.は、主に東アジア地域での事業の統轄を行います。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、2014年4月に海外での事業展開の統轄会社として設立いたしました。

## 2. 店舗展開の状況

	2014年 3月期	2015年 3月期			2016年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	127	1	—	128	3	—	131
さがみ庭 (SC店)	0	2	—	2	—	1	1
さがみ庭 (御器所店)	1	—	—	1	—	—	1
盛賀美	3	—	1	2	—	1	1
さがみ	0	—	—	0	1	—	1
もんぺとくわ	1	—	1	0	—	—	0
味の民芸 (FC店舗含む)	60	—	4	56	—	3	53
あいそ家	10	—	—	10	5	1	14
あいそ家 Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
どんどん庵	42	—	5	37	1	8	30
どんどん庵 (どん呑み対応店)	0	1	—	1	5	—	6
まるど食堂	1	1	—	2	3	1	4
鹿山食堂	1	—	—	1	—	—	1
製麺大学	4	—	—	4	—	1	3
水山 (FC店舗含む)	9	—	3	6	2	2	6
びんむぎ	0	1	—	1	—	—	1
JIN JIN	5	—	1	4	—	1	3
Dela PASTA Kitchen	0	1	—	1	—	—	1
ASIAN LEAF	1	—	—	1	—	—	1
サガミ村	2	1	1	2	—	1	1
陣屋サガミ	1	—	—	1	—	—	1
フランチャイジー店舗	5	—	—	5	—	—	5
その他 国内	2	—	2	0	4	—	4
海外 上海	4	—	1	3	1	—	4
海外 タイ	0	2	—	2	3	—	5
海外 インドネシア	0	1	—	1	2	—	3
海外 その他	0	0	—	0	4	—	4
合計	280	11	19	272	34	20	286

\*業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

\*2015年3月31日現在

## ○ 業態毎の店舗展開について

### <国内>

- ◆ 和食麵処サガミ業態では、2014年4月に「和風ビュッフェもんぺとくわ 江南店」を業態転換し、新モデルの「和食麵処サガミ 江南店」としてオープンいたしました。既存の和食麵処サガミには無いドリンクバーやサラダバーを設置しております。これにより、和食麵処サガミは128店舗となりました。
- ◆ さがみ庭(SC店)業態は、2014年4月に「イオンモール各務原店」、同年6月に「イオンモール名古屋茶屋店」を出店いたしました。(※さがみ庭御器所店は高級和食店舗であります)
- ◆ 盛賀美業態は、2014年12月に牛タンと十割そばの「盛賀美 小田原店」を閉店したことにより、2店舗となりました。
- ◆ 味の民芸業態は、2014年7月に「味の民芸 千葉店」を、同10月に「味の民芸 西宮建石店」を、2015年1月に「味の民芸 京都伏見店」を、同3月に「味の民芸 箕面店」を閉店したことにより、56店舗となりました。
- ◆ どんどん庵・まるど食堂業態は、2014年7月に「どんどん庵 苗代店」を「まるど食堂 小幡店」に業態転換し、更に同12月に夜のアルコール需要への対応として「どんどん庵 丸ノ内店」をどん呑み対応店に転換いたしました。  
また、「どんどん庵 美濃焼卸センター店」、「どんどん庵 刈谷新富店」、「どんどん庵 日置橋店」の3店舗を閉店したことにより、どんどん庵は37店舗、どんどん庵どん呑み対応店舗は1店舗、まるど食堂は2店舗となりました。
- ◆ 水山・びんむぎ業態は、2014年7月に「びんむぎ 軽井沢プリンスショッピングプラザ店」を開店した一方、契約満了により、2014年9月に「水山 代々木上原店」、同9月に「水山 相鉄ジョイナス店」、2015年1月に「水山 京王高幡ショッピングセンター店」を閉店いたしました。  
これにより、水山は6店舗、びんむぎは1店舗となりました。
- ◆ JIN JIN業態は、2015年3月に岐阜県の土岐プレミアムアウトレットのフードコートに、あんかけスパとフレッシュサラダの Pasta プレートを提供する「Dela PASTA Kitchen 土岐店」を開店いたしました。一方で、2014年4月に「JIN JIN 霞ヶ関店」を閉店したことにより、JIN JINは4店舗、Dela PASTA Kitchenは1店舗、ASIAN LEAFは1店舗となりました。
- ◆ サガミ村業態は、2014年7月に千葉県のイオンモール八千代緑が丘店のフードコートに、関東圏初出店した一方、同7月に「サガミ村 大津バロー店」を閉店いたしました。  
これにより、サガミ村は「イオンタウン 名西店」と「イオンモール 八千代店」の2店舗となります。
- ◆ あいそ家、製麺大学業態、フランチャイジー店舗(丸源ラーメン3店舗、たい夢(たい焼き)2店舗)の当期間での店舗数の増減はありません。

### <海外>

- ◆ 2014年4月に、「上海盛賀美福州路店」を閉店いたしました。  
これにより、上海盛賀美は3店舗となりました。
- ◆ 2014年4月に、タイのショッピングモールCentral Plaza-Rama 3に「SAGAMI Rama3店」を出店し、2015年3月に、ショッピングモールCentral Worldに2号店となる「SAGAMI Central World店」を出店いたしました。
- ◆ 2014年7月に、インドネシアのショッピングモールPlaza Senayanのフードコートに「SAGAMI Plaza Senayan店」を出店いたしました。
- ◆ 海外展開につきましては、5年でASEAN地域に20店舗(内、タイ10店舗)の展開を目標としております。

以上により、2015年3月末のサガミグループ店舗数は272店舗であります。

### 3. 2015年3月期の業績概況

#### ○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2014年 3月期	当初計画 2014年5月12日発表	2015年 3月期	当初計画 差異
売上高	19,521	24,700	25,341	641
営業利益	529	580	579	△1
経常利益	575	625	660	35
当期純利益	595	385	458	73
一株あたり 当期純利益	23.85	15.42	18.36	2.94

#### ○ 単体ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2014年 3月期	当初計画 2014年5月12日発表	2015年 3月期	当初計画 差異
売上高	16,058	16,500	16,411	△89
経常利益	553	585	628	43
当期純利益	506	375	459	84
一株あたり 当期純利益	20.29	15.02	18.43	3.41

\*当初計画とは、年初(2014年5月12日)に発表した通期計画です。

### 4. 財政・キャッシュフローの概況

#### ○ 連結財政状態

単位 (百万円/%/円)	2014年 3月期	2015年 3月期
総資産	18,354	17,978
純資産	10,952	11,443
自己資本比率	59.6	63.6
一株あたり 純資産	438.36	458.46

#### ○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2014年 3月期	2015年 3月期
営業活動によるキャッシュフロー	1,188	1,155
投資活動によるキャッシュフロー	△824	△276
財務活動によるキャッシュフロー	△164	△1,076
現金及び現金同等物 期末残高	3,413	3,298

○ 設備投資について  
連結設備投資は663百万円(2014年3月期実績347百万円)となりました。

○ 減価償却費について  
減価償却費は477百万円(2014年3月実績394百万円)となりました。

## 5. 2015年3月期の業績・取り組みについて

### ○ 2015年3月期の業績について

- ◆ 2015年3月期の業績につきましては、主力業態である「和食麵処サガミ」の既存店の売上前年比は101.1%となりました。消費増税による景気の落ち込みに加え夏場の大型台風や深夜営業時間の短縮による影響もあり、客数前年比が99.8%となりましたが、高付加価値メニューの導入等の需要に則した対策を進めたことにより客単価前年比が101.3%で推移し、売上が前年を上回る結果となりました。
- ◆ 2014年1月にグループ化した味の民芸フードサービスにつきましては、使用小麦粉の見直しや赤字店舗の早期閉店等の対策を進めた他、グループ間での商流物流の統合、食材の共用化などのシナジーもあり、黒字化いたしました。「和食麵処サガミ」の次に店舗数の多い業態「味の民芸」につきましても、既存店の売上前年比は108.6%、客数前年比は102.3%と大きく回復いたしました。
- ◆ その他の業態の売上につきましては、「和食麵処サガミ」同様に大型台風の影響があったものの、営業時間の変更等が軽微な為、前年に対し好調に推移いたしました。
- ◆ サガミチェーン単体につきましては、ほぼ想定通りの推移となりました。その結果、経常利益、当期純利益においては業績予想を上回る結果となりました。

### ○ 2015年3月期の主な取り組みについて

- ◆ 主力業態の和食麵処サガミでは、創立45周年を記念し、2014年12月1日より10日間、冬の感謝祭の第2弾となる『45人に1人必ず当たる』キャンペーンを実施いたしました。1回のお食事金額3,000円毎に応募いただけるキャンペーンで、45人に1人の確率で5,000円分のお食事券が当選することもあり、大変多くのお客様に参加いただきました。1970年の創業以来、多くの株主様、お客様、取引業者様に支えられ、この45周年を迎えることが出来ました。本当にありがとうございます。
- ◆ 和食麵処サガミでは、個店メニューを全店に展開いたしました。店長に独自メニューの開発権限を委譲し、各店舗の店長が自店の立地特性を踏まえてメニューを企画立案いたします。地産地消の面からも有意義なメニューであり、お客様からもご好評いただいております。
- ◆ ショッピングセンター内へのチャレンジとして、軽井沢ショッピングプラザのフードコートに、備中手延べうどん『びんむぎ』、土岐プレミアムアウトレットのフードコート内、あんかけスパとサラダプレートパスタ『Dela PASTA Kitchen』をオープンいたしました。両店ともに非常に好調に推移しております。
- ◆ 海外では、前頁にあるように、2014年、ASEAN地域に初進出いたしました。タイに2店舗、インドネシアに1店舗を出店いたしました。タイのCentral World店においては、そばの認知度を高めるべく、そばの食べ放題イベントを実施いたしました。



4月にASEAN1号店としてOPENしたタイのRAMA-3店



3月に土岐プレミアムアウトレット内にOPENしたDela PASTA Kitchen



サガミ掛川店限定メニュー  
掛川茶そば『茶摘み和膳』



『45人に1人が当たる』  
キャンペーンポスター



## 6. 2016年3月期の業績予想

### ○ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	25,341	26,300
営業利益	579	730
経常利益	660	780
当期純利益	458	510

### ○ 単体ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	16,411	16,900
営業利益	557	640
経常利益	628	670
当期純利益	459	420

### ○ 2016年3月期について

- ◆ 2015年4月に(株)サガミチェーン100%出資子会社である『株式会社サガミマスターズ』を設立いたしました。  
サガミチェーン、味の民芸フードサービス、ディー・ディー・エー、サガミマスターズと、国内営業会社を4社に分け、店舗規模および立地特性に対するグループノウハウを集約し、専門性を持って、各事業を拡大できるよう経営に取り組んでまいります。
- ◆ 味の民芸との更なるシナジー推進とグループ業務効率化のため、管理業務をサガミサービスに、購買・製造業務をサガミフードに集約いたしました。
- ◆ 2015年5月にイタリアミラノで行われる『ミラノ国際博覧会』に日本館レストランの一員として、出店いたしました。そばの認知度向上およびサガミの知名度向上に取り組んでまいります。
- ◆ 店舗展開につきましては、業態転換を含み34店舗の出店と、20店舗の閉店を計画しております。
- ◆ 2015年3月期は、店舗意識向上のため社内オーナー制度を13店舗に拡大いたしました。導入店舗においては利益改善が進んでおり、2016年3月期は新たに社内オーナー制度対象店舗を14店舗に増やすとともに、社内オーナー地区長制度も導入いたしました。更にこの仕組みを味の民芸にも拡大し、味の民芸では2店舗・1地区でスタートいたしました。
- ◆ 高齢化社会が年々進行する中、宅配事業への取り組みは重要性が増しております。2015年3月期は、サガミ3店舗、あいそ家1店舗、味の民芸4店舗で宅配事業に取り組んでまいりました。2016年3月期は、上記に加え、新たにサガミ2店舗、民芸5店舗を追加し、グループ間のノウハウを蓄積しながら、スピードを持って引き続き取り組んでまいります。
- ◆ 関東地域は今後も人口の増加が予測されており、また、ASEAN地域は著しい経済発展をしている上、『和食』の人気の非常に高い地域であります。両地域は中部地域同様に最重要地域と位置付け今後も注力してまいります。
- ◆ 前期に引き続き、お客様起点思考の視座を堅持しながら、店舗の改善を進めると共に、「科学的経営の推進」「コストの聖域なき見直し」「経営基盤の強化」を更に進めてまいります。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により当初予想数値と異なる可能性があり、毎年見直してまいります。

## ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

### (1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」「企業を通じてお客様に奉仕すること」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

### (2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示電子情報システム(TDnet: Timely Disclosure Network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

### (3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実態に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

### (4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間前の一定期間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメント、IR活動を控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

### (5) ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。